

## 第29回「医療と介護のお気軽座談会」アンケート集計

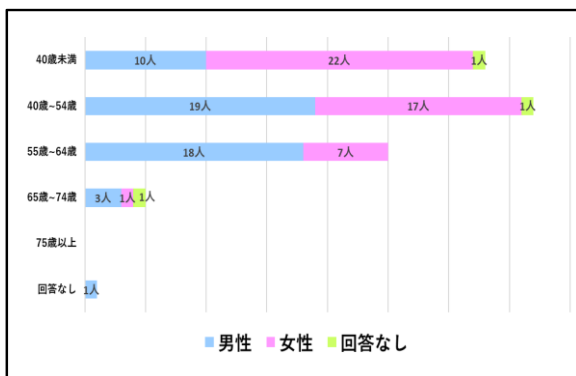
＊開催日：令和7年9月27日（土）

＊会場：昭和堂 〈礎大学〉

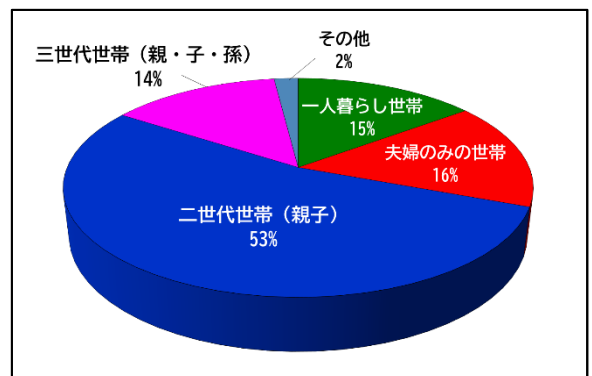
＊内容：①「在宅医療ってなあに？」  
 ②「介護保険サービスを利用する」  
 ③「かかりつけ医で安心を！」  
 ④「その時に備えて」

|           |      |
|-----------|------|
| 参加者数      | 101人 |
| アンケート回答者数 | 101人 |
| 回収率       | 100% |

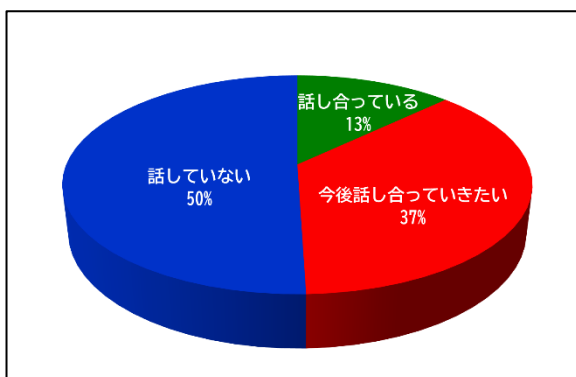
### (1)性別・年齢



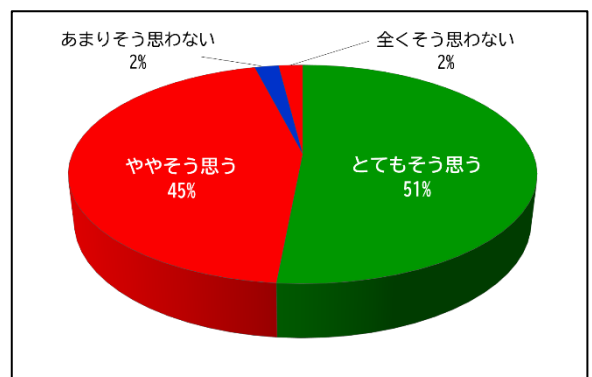
### (2)現在、誰と住んでいますか



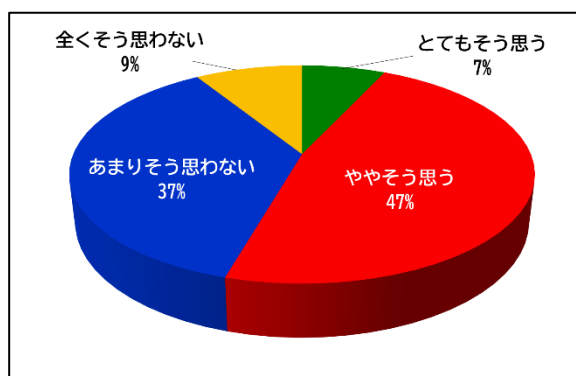
### (3)介護が必要になった場合について、 家族と話し合ったことがありますか



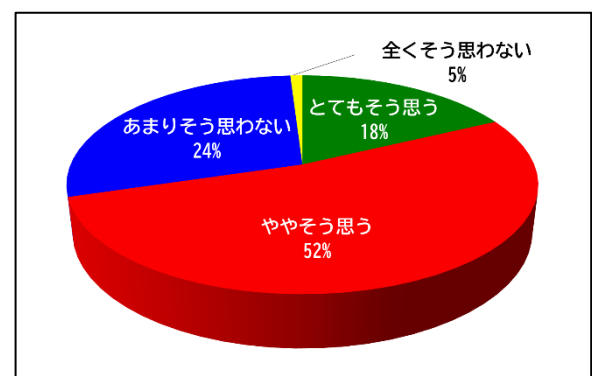
### (4)自分や家族の望む医療や介護について、 家族と話しあった方がよいと思いますか



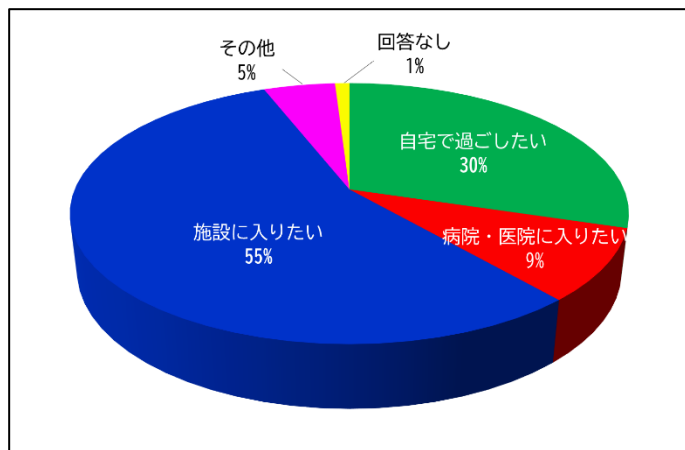
### (5)出来れば介護は家族の方が 望ましいと思いますか



### (6)介護が必要になったとき、 家族の世話になりたくないと思いますか



## (7)あなたが介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



### ■ 自宅で過ごしたい

- ・気楽であるから。
- ・住み慣れた場所で過ごしたい。
- ・できるだけ家族のそばにいたい。
- ・通えるなら家で過ごして通院したい。プライベートタイムが欲しいので。
- ・できれば自宅で。
- ・普段と同じ生活をしたい。
- ・施設や病院よりも自由に過ごせるから。
- ・お金がかかる。
- ・安心できるから。
- ・自宅でゆっくり過ごしたいから。
- ・慣れた環境で過ごしたいから。出費を抑えたいから。
- ・家族といたい。
- ・個人で過ごしたい。
- ・自分の好きなようにできるから。
- ・施設以外ならどこでも良い。
- ・病院での生活は辛い。
- ・自宅が好きだから。
- ・終の棲家は自宅でありたい。

### ■ 病院・医院に入りたい

- ・自宅では家族の負担が大きすぎると思うから。
- ・自宅で過ごしたいが、身のまわり事が出来なくなったら、病院・施設にお願いしたいです。
- ・身内に面倒かけたくない。
- ・家族には迷惑をかけたくないから。
- ・周囲の人々を見ているとそう感じる、
- ・家族に迷惑をかけたくないから。

### ■ 施設に入りたい

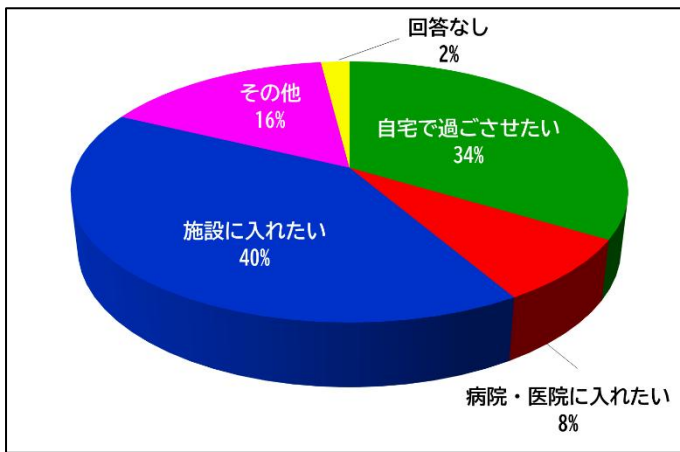
- ・家族の負担になりたくない。
- ・人の手が必要になるから。
- ・家族に負担をかけたくない。

- ・母の介護を経験し、家族の介護が当然と思っている節が、本人(母)にあったが、仕事をしている世代が介護をするのは、現実的ではない。様々な施設も見たので、人の手を借りず自分は人生を終えたいから。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・家族に負担をかけたたくない。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・介護が大変なので、妻・娘に負担をかけたたくない。
- ・できるだけ自宅にいたい、家族の負担になるくらいなら、施設に入った方が良い。
- ・自分の子供達にも生活があると思うので、なるべく迷惑をかけたたくない。
- ・家族になるべく負担をかけたたくないから。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・家族の負担を減らしたい。
- ・介護は大変だから家族に負担をかけるよりプロにお願いしたい。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・家族に迷惑をかけたくない、
- ・一人暮らしであり、妹やその子らに迷惑をかけたくない。
- ・迷惑がかからないから。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・自宅だと家族への負担が大きいので。さみしくはありますが…
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・家族(子供)に負担をかけたたくない。
- ・一人暮らしなので。
- ・家族を苦しめたくないから。
- ・子供達に迷惑をかけたたくない。老々介護になるとお互い負担になる。
- ・同年代がたくさんいそうだから。
- ・子供に迷惑をかけたたくない。
- ・安心感。
- ・家族に迷惑をかけたくないから。
- ・家族の負担になりたくないから。
- ・家族に迷惑をかけるので。
- ・家族に迷惑をかけたたくない。
- ・家族の負担になりたくないため。
- ・家族であっても人に迷惑をかけたくないから。
- ・周りの人に迷惑をかけず、辛い治療もあまりしたくないから。

## ■ その他

- ・その時の自分の状態によって3つのどれかを選択したい。
- ・知識がないため、判断ができない。
- ・完全に施設に入るではなく、家族・地域・友人とつながりを持ちながら、施設や公共の力に助けってもらうことで、本人も家族も負担とならない状況が好ましいと思うから。家族と本人が幸せでない状況にしたくないので。
- ・まだ考えた事がないので、分からない。

## (8)家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



### ■ 自宅で過ごさせたい

- ・自分で面倒を見てあげたい。
- ・家族の意見。
- ・自分ができる範囲で介護したいです。
- ・自宅で介護するのが理想ではあるが、状況によって変わってくると思う。
- ・すぐ近くにいる方が安心。
- ・家族の気持ちの面では、それを望むと思う。
- ・思い出を最後まで作りたい。
- ・できるだけ自分の家族は自分で介護したい。
- ・できる限り自宅で。
- ・本人が生まれ育った場所で、過ごさせたい思います。(親の場合)
- ・出来る事をしてあげたい。
- ・住み慣れた自宅で過ごす事が、本人の気持ち的にも安心すると思うから。しかし、介護の度合いによっては施設がベストのような気もする。
- ・住み慣れた自宅で過ごしてほしい。
- ・自宅でゆっくり過ごさせたいから。
- ・家族といたい。
- ・安心して自分で様子を見れるから。
- ・今でも母を自宅で看てあげたかったと思っています。
- ・介護は大変だと思うが、助け合う事は必要だと思う。
- ・家族が好きだから。
- ・可能な限り一緒に居たい。
- ・家族の意思を基準にして考えたい。
- ・悲しい思いをさせたくない。

### ■ 病院・医院に入れたい

- ・第1には、自宅で過ごさせたいが、1日中？その時間がとれるのか？？と思うと、病院・施設にお願いする事になるのか？と。
- ・家は狭くて、介護に向いていないので。
- ・現時点で、自分が面倒を看る自身がないため。
- ・自分達で介護をしても危険なことが多いと思うから。
- ・その道の専門の人にお世話してもらった方がいいと思うから。

## ■ 施設に入れたい

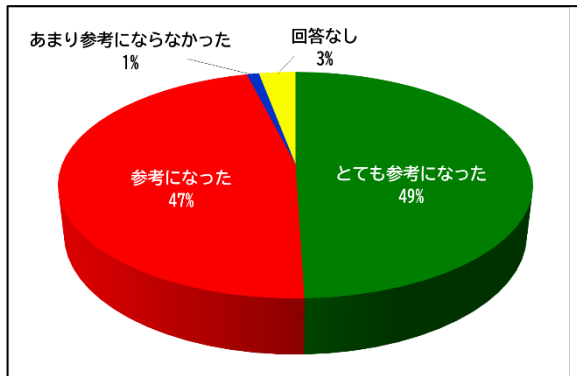
- ・自分の生活が保てる場合は良いが、負担が多すぎる（眠れない）となると自宅は厳しい。
- ・本人の気持ちも大事（自宅で過ごしたい）だが、家族の負担が大きい。また介護、看護の知識がないので、対応しきれない。結果、プロにお任せしたい。
- ・親の希望のため。一人にはしたくない。
- ・本人に気を使わせたくない。
- ・本人は自宅が希望だろうけど、お互いのために施設など人に頼っていい関係が続くようにしたい。
- ・可能なら、自宅で過ごしてほしいが、素人で介護するのは負担が大きすぎる。それならば、介護のプロに任せて定期面会の方が望ましい。
- ・専門の所で安心して過ごしてもらいたいから。
- ・プロに任せたい。
- ・祖母の在宅での介護をみて、プロに任せた方が良かったから。（せん妄が悪化したりなどしてお互いに辛かったから。）
- ・他の人をお世話できる自信がない。
- ・正しい介護のやり方が分からない。
- ・自分の家族の生活を考えると介護は難しいかな？と、思う。
- ・面倒みきれない。
- ・安心・安全だから。自分自身も身動きが取れない。
- ・働きながらの介護をしましたが、とても精神的に疲れました。（父と母）できるだけ自宅で過ごさせたい気持ちはあります。
- ・遠くに住んでいるので、介護出来ない。
- ・技術がない。体力・気力が続かない。生活が成り立たない。
- ・子供達に迷惑をかけたくない。老々介護になるとお互い負担になる。
- ・仕事があるので。
- ・身内の介護で、疲れを見てきたため。
- ・介護が大変。
- ・一人自宅に残している時、何があるかわからないし、すぐに対応できないのが心配。普段の生活の中でも対応できないことで自分も心身共に病んでしまうのもつらい。
- ・自分でできる時はするが、寝たきりになったら、世話するのが困難だと思うから。
- ・自分で過ごしてもらいたいと思う反面、介護のプロにしてもらった方が良いのではないかと思う所もある。

## ■ その他

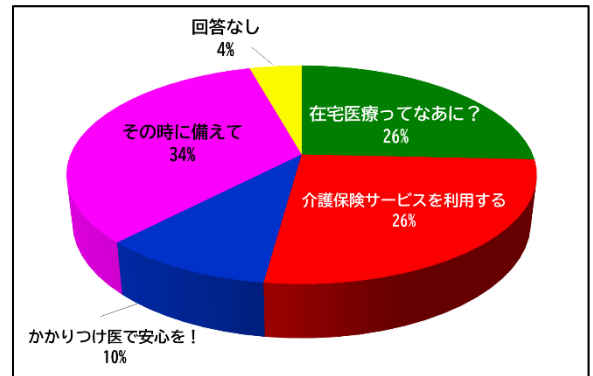
- ・家族の介護のレベルにより選択したい。
- ・状況によって判断する。
- ・本人の意思に任せる。
- ・本人の希望。
- ・本人の意向を尊重させたい。
- ・当人の意志を尊重する。
- ・本人の希望。
- ・本人の希望によります。
- ・完全に施設に入るのではなく、家族・地域・友人とつながりを持ちながら、施設や公共の力に助けってもらうことで、本人も家族も負担とならない状況が好ましいと思うから。家族と本人が幸せでない状況にしたくないので。
- ・介護が必要な家族とよく話し合い、相応の意見で決めていきたい。

- ・家族の希望にあわせます。
- ・家族と話し合って決めたい。ただ、家族と離れて暮らしているので、地元に戻って自分の人生が変わるのもどうかと思うので、よく考えたい。

#### (9) 本日の講演は参考になりましたか



#### (10) 特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



#### (11) 本日の座談会についてご意見をお聞かせください。

- ・今後について考えるきっかけになりました。
- ・これから必要になってくることで、勉強になりました。
- ・ACP を初めて知り、大事だと感じました。
- ・今回の座談会で、在宅医療や介護保険等、言葉は聞いた事があるが、知らない、わからない事ばかりでしたが、理解することができました。親の事、自分の事、そろそろしっかりと考えをまとめておかなければならないと実感しました。ありがとうございました。
- ・自分の今後を考える上で、とても参考になりました。早めに意思をはっきり伝えるようにしたいと思います。
- ・家族とは話しておくことの大切さ改めて感じた。いざという時、相談することで人生を自分らしく生きられる。家族の生活、人生をその人らしく生きられると分かった。現在、介護をしている母にも当事者として聞いてほしい内容でした。
- ・諫早は高齢化しており、介護についてより考える必要があると感じました。自分や家族だけに目を向けるのではなく、近所、地域で助け合いながら高齢化社会を支えないといけないと思いました。在宅医療についても、考え方次第なのだと思います。終活についても考える事が大事だと思います。
- ・本日はありがとうございました。両親が高齢となり、将来への心構えの必要性を感じました。内容につきまして、座談会というおり説明会という感じでした。利用者さんの例など、実例を交えたお話をしていただければ、自分自身・両親と重ねて考えを深められたのではないかと思います。
- ・自分の老後を考えていかないといけない時代だと思うので、改めて自分に何かがあったその時に備えていく必要を感じました。また親とも日常の会話で取り入れて意思疎通を図っていきたいと思います。
- ・私は父母がすでになくなっており、今後自分がどのように介護を受けるか、又はしていかなくてもいけないのか参考にさせて頂きました。ありがとうございました。
- ・政府は 70 歳まで働けという、政府は在宅介護数を増やしたい。我々はどうすれば良いのでしょうか。在宅介護が義務みたいになると生活困窮者がますます増えるような気がします。
- ・死に関しての事なので、考えることはあっても、話し合いたいと思ことはなかった。いつ話をするかはまだ決めかねますが、一つのきっかけになったと思います。お忙しい中、ありがとうございました。
- ・年齢的にも身近な問題になっていると思う。理想は自分で介護するのがいいと思うが、想像以上に大変だろうなとは考えられます。一人で抱え込まないで色んな所を頼っていけばいいのかなと感じた。
- ・今まで介護のことについて詳しい話は聞く機会がなかったので、とても勉強になりました。
- ・自分はまだ若いからそんなに関係ないと思っていました。祖父のことを母と父が話しているのを思い出し、自分の両親がもししたら…と考えると、今のうちに祖父のことについても話し合い等、気がけておこうと思いました。

- ・家族間で話し合うべき内容が明確になり、勉強になった。
- ・まだ 23 歳という年齢なので、老後の過ごし方や介護が必要になった時のことが想像つきませんが、知っておくだけで、選択肢が広がるので、とても参考になりました。自分のことは、まだあと 40 年後ぐらいですが、親や叔母の老後については、考えることがあります。家族で事前に話しておくことでいざとなった時に困らず済むと思うので、時間をみつけて話し合ってみようと思いました。本日は大切なお話をありがとうございました。
- ・在宅医療や介護保険サービスについて、日頃話をすべきだと思ってはいるが、なかなか話すことがないため、改めて考える機会を得たと思います。いつか自分の最期について、家族のためにも今後しっかりと向き合っていないといけないと感じました。いわれてみれば、そうかな。ということばかりで、勉強になりました。
- ・相談するところなどが参考になり、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・今回の講演を機に、家族とも話し合って今後に生かしていきたいと思いました。
- ・病院や介護施設よりも、在宅医療の方が自分の好きな生活をしながら、医療・介護を受けられる。しかし、何かあった際、病院や施設だとすぐかけつけてもらえるが、自宅だと時間が掛かるので、病院・施設に入った方が良いと感じた。
- ・現在、母親(81 歳)と一緒に妻と三人で暮らしています。今後の事をどの様にしたら良いのか参考になりました。今後も家族と話し合っていきたいです。自分もそういった事に近づいてきているので、自分の事も考えながら過ごしていきたいです。
- ・皆が元気に過ごすことがベストですが、介護が必要になる事を想定して、やはり家族で備えておく事が大事だと思いました。介護をされる側、する側の気持ちをすり合わせておく事で、人生の過ごし方が明るい物に変わっていくのではないかと思います。
- ・在宅医療が必要になる理由等、大事な部分を紹介する時のスライドの内容が分かりにくかった。遠くから見ている人には何が表示されているのか全く分からず、話している内容で理解しないといけないのが少し不便だった。
- ・健康に過ごすのが 1 番だと思った。
- ・年齢的にしっかり考えておかなければならないことばかりですが、なんとなく避けてきたことでもあります。今日のお話を機に身内と話ができればと思います。
- ・在宅介護という言葉は聞いた事がありましたが、真剣に考える機会がなかったので、今回の講演はとても参考になりました。いずれ親も老いるので、その時の為にも話し合う機会を作りたいなと思います。
- ・とても参考になりました。普段話す機会がないので、これを機会に話し合いたいと思いました。
- ・自分や家族の介護や老いについてあまり考えた事がなかったけど、さけては通れない大事なことだと改めて思いました。今後の事を考える、いいきっかけになりました。お話ありがとうございました。
- ・今回の話を聞いて、介護についてまだまだ必要ないと、そんなに考えた事はありませんでした。これをきっかけに考えたいと思います。今日はありがとうございました。
- ・在宅医療の大切さ、支援センターの役割  
最初はどうしたらよいのか、何もわかりませんでした。市役所に聞いても肝心なことが何もわからず、どこに相談すればよいのか、ケアマネさんはどうやって探せばよいのか本当に何もわからず、(10 年以上も前の事です)新道町にあった福祉会館中に相談に行き、とても親身になってくださるケアマネさんに会うことができ、両親とも最後まで携わってくださり、感謝しています。  
最初の関わりがとても大切だと思います。しかし、どこに行けば良いのかは、その時初めて感じる事だと思います。何をどう進めていけば良いのかをもっと多くの方に伝えられたらと思います。
- ・どこに相談すればいいのか、よくわからなかったので、今回の座談会で聞くことで、参考になりました。
- ・親の介護が必要になった時のことは少し考えたことがあっても、自分の将来の介護については考えたこともなかったので、今回の講演会で学んだことを、家族と共有して備えたいと思います。
- ・親と介護などの話をしなければいけないと思いつつ、なかなか話すきっかけもなく、話していないので、こういう講演会を聞いた、こんなパンフレットもらったよ。から、話すきっかけをいただけたと思います。ありがとうございました。

- ・きっかけになったと思います。
- ・これからの自分と家族の人生について色々学ぶことができました。今を生きることは大事ですが、将来どのように過ごさないといけないか、悔いのない人生を送るため、これから考えたいと思いました。
- ・在宅で過ごす事は決めていたが、具体的にどうするか等は決めていなかったので、今回の座談会で介護サービスを利用したりする等、負担を減らすことが出来ると知れたので、今後はこういう方法の話もしていこうと思います。
- ・今後の人生の参考になりました。
- ・今回の座談会で、先々の事を考え、介護について家族と話し合う時間を作ろうと思いました。また最近では、親の体の状態があまり良くないので、介護について確認など行いたいと思います。
- ・両親が高齢になり、現実味をおびてきているが、実際当事者になって苦労すると思うので、事前にこのような事を学べて良かったと思う。ACPが重要だと感じたので、家族との話し合いを進めていきたいと思う。
- ・グラフで見ると人口減少や高齢化が進んでいるのがよくわかる。高齢者の事故・怪我の予防対策(家の中での段差、手すりなど)健康寿命を保つための生活習慣を身につけていきたい。(楽しむ)  
備え方、考えるいい研修になった。自分が住んでいる地域の包括支援センターを知っておく必要があると思った。
- ・最後まで見ていただけたという施設に母を預けましたが、最終的には看てもらえないといわれて、受け入れ先を探すことになりました。今でも家に連れて帰りたいと後悔しています。人手不足が理由でした。いつまで続くかわからない介護ですが、もっと早く相談できたら良かったです。
- ・子育てが一区切りし、次は自分の両親と義理の母親の介護という問題が目前に迫ってきました。特に自分の両親は二人で生活しているので、老々介護になりかねません。兄夫婦とも今日の講演の内容等も話し合い、介護にも向き合いたいと思います。
- ・要支援と要介護の違いを知りました。
- ・老いを考え=生きると考える。コミュニティ、食事、運動を大切にしながら老後を過ごしたい。在宅介護でも色々なサービスを利用すれば、負担を軽減することができる。
- ・自分の人生の後半について、たくさん勉強になりました。今日いただいた資料を熟読し、家族とも話し合い、今後の人生に役立てていきたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・今まで考えてこなかった事を教えてもらって、とても参考になった。
- ・私自身、最期を考えた事がないですが、自分の親や祖父母のことを考えないといけないと思いました。話し合う必要があると感じました。
- ・お話の内容や資料を両親と共有し、話し合いたいと思いました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・本日は御講演いただき、ありがとうございました。私自身子供が生まれたばかりで、本日お話いただいたような内容の事を考えたことはありませんでした。ただ、今後私の人生にもやってくる事ですので、生きる上での知識としていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・そもそもなんで介護とか、家族がする前提なのか考えていました。(しないとしても見守るのは家族の役目とされている)じゃあ、子供って介護が必要になった時にさせるために作るの？と、思います。だから、国の仕組みとして“仕事”として家族の介護をするようになればいいのになって、思いました。(介護をすることが仕事なので、給与が発生する)これが、理想論なのはわかるのですが…。今回の講演を聞いて、介護をする立場ではなく、される立場の気持ちも考えなければと思いました。在宅希望が66%もいるのなら、なかなか難しいのかもな一と。介護する側とされる側の希望が通り、お互いがよりよい人生を送れるとよいですね。
- ・日頃、あまり考えることのない介護について改めて考える機会になって良かったです。家で介護について話してみようと思いました。
- ・自分の最期、家族の最期はどうしたいのかしっかり話し合いたいと思いました。話し合うきっかけを作ってください、ありがとうございました。
- ・後伸ばしにしがちな老いの課題、公的支援などをよく知り、準備していきたい。カナダで進む安楽死にも興味があります。